



## 病院の概要

- 医師数(研修医を除く) 54名(うち指導医数 18名)
- 研修医数 1年目 1名 2年目 0名
- 研修医の主な出身大学 群馬大学・山梨大学・岩手医科大学・神戸大学・  
順天堂大学・東北大学・金沢大学・新潟大学・  
東京女子医科大学・杏林大学・東京医科歯科大学 ほか
- 診療科 内科 消化器内科 循環器内科 肝臓内科 腎臓内科 呼吸器内科  
糖尿病内科 内分泌内科 神経内 リウマチ科 人工透析内科  
アレルギー疾患内科 内視鏡内科 外科 消化器外科 食道外科 肝臓外科 大腸外科 脳神経外科 整形外科  
リハビリテーション科 呼吸器外科 泌尿器科 婦人科(健診のみ) 乳腺外科 眼科 皮膚科 形成外科 内視鏡外科  
放射線科 放射線診断科 病理診断科 臨床検査科 救急科 麻酔科
- 1日平均外来患者数 424名 ● 1日平均入院患者数 157名
- 主な認定施設 日本内科学会認定医制度教育関連病院、日本外科学会外科専門医制度修練施設、日本循環器学会認定循環器専門医研修施設、  
日本腎臓学会研修施設、日本栄養療法推進協議会・NST(栄養サポートチーム)稼働施設、  
日本医療機能評価機構認定病院(3rdG:Ver 1.1)



## 研修プログラムの特色

内科系は腎臓、循環器、内分泌代謝、呼吸器、消化器を常設し、さらに大学からの支援で神経内科、膠原病・リウマチ内科の外来診療を行っています。腎臓内科は開設40年弱の透析医療の長い歴史があり、別館・透析クリニックで関東最大級400例以上の維持透析を担い、循環器内科は救急医療連携でPCIから末梢動脈まで幅広く活躍し、内分泌・糖尿病内科は専門の糖尿病診療から糖尿病教室まで地域に密着しています。呼吸器内科では市中感染症診療、睡眠時無呼吸症候群、緩和医療まで集約的に取り組み、消化器系は肝炎、栄養を中心に診療を行なっています。

外科系は消化器、血管、泌尿器、整形外科、脳外科から乳腺外科、形成外科まで幅広く対応しています。消化器外科は、ヘルニア日帰り手術から鏡視下手術に至るまで精力的に活動し、内視鏡外科では2000例に及ぶ症例を誇っています。また整形外科では人工関節置換術から脊柱官狭窄症や脊椎変形まで県下有数の実績を挙げています。脳神経外科は埼玉県脳梗塞急性期ネットワークに参画し年頭から基幹病院としてこの11ヶ月間に200例以上の受入数に及んでいます。救急医療から生活習慣病まで幅広い地域医療に接しながら充実した研修が当院の特色です。



## プログラム 例 卒後初期臨床研修プログラム(募集定員2人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目▶	内科						外科			麻酔科		救急
2年目▶	小児科	精神科	産婦人科	地域医療	選択							

○必修 内科6ヶ月、外科2ヶ月、麻酔科2ヶ月、救急2ヶ月、小児科1ヶ月、精神科1ヶ月、産婦人科1ヶ月、地域医療1ヶ月

○自由選択8ヶ月 内科、外科、整形外科、脳神経外科、泌尿器科、皮膚科、麻酔科より選択



## 研修医の処遇

- 給与▶ 約41万円/月
- 諸手当▶ 通勤手当あり、賞与なし
- 保険▶ 健康保険、厚生年金、雇用保険、労災適用
- 勤務時間▶ 9時～17時
- 当直▶ あり(4回/月)
- 休暇▶ 土曜午後、土曜(隔週)、日曜、祝日、夏季休暇、年末年始、  
有給休暇(1年次:10日、2年次:11日)
- 宿舎▶ あり 2.5万円/月
- その他▶ 当直手当あり

主な臨床研修協力病院  
協力施設

- ・東京医科歯科大学医学部附属病院
- ・草加市立病院
- ・秀和透析クリニック
- ・春日部在宅診療所ウエルネス





## 当院の魅力

### 地域に密着した研修で技術を習得

埼玉県は全国でも1~2位の高齢化進行率ですが、2015年の統計では65歳以上の頻度は全国では26.6%、東京都22.7%、埼玉県24.8%を示し春日部市では28.1%とさらに高齢化が進んでいます。この地域に密着した研修を考える時には合併疾患で病める高齢者に対し、各領域専門医の指導下に最新鋭の医療機器を用いて、最初は問診聴取から身体所見の取り方、そして各種検査値の読み方や画像診断の技術を修得することになります。

秀和総合病院では内視鏡始めCT診断装置、MRI診断装置、各種超音波診断装置、心臓血管撮影装置など大型医療機器を設置していると同時に各領域の専門医や指導医が常勤しています。特に多くの医師の出身母体である国立大学法人・東京医科歯科大学医学部附属病院や近接する獨協医科大学・埼玉医療センターなどと密接な医療連携を保持し、必要に応じて診療科研修に向くこともあります。

病院数を人口10万人当たりで見ると、全国では6.56、東京都4.75、埼玉県4.73、県内・東武医療圏で4.47を示しますが、春日部市では5.59と比較的病院数が多いのが特徴です。一方、同じ条件下の医師数では全国233.9人、東京都311.8人、埼玉県166.8人、春日部市143.5人と最小人数でもあります。

是非、高齢化率が高く医師数の少ない当地で少数精鋭の騎士として、医療技術の修得と共に初めての臨床研修医期間を秀和総合病院で過ごし、人として医師としての充実した新たな道に進みましょう。



### 研修責任者から message



副院長

安達 進

秀和総合病院がある春日部は人口約24万人の市で、東武鉄道のスカイツリーラインとアーバンパークラインが乗り入れ都心や大宮、千葉からのアクセスが非常によい場所にあります。

当院は埼玉県東部医療圏の救急基幹病院で年間3500台の救急車を受け入れ地域の急性期医療のみならず、がん医療、緩和医療、健診センター、透析クリニックなど幅広く展開し、より専門性が高くより質の高い医療を提供できる病院として機能しています。

病院には最新の医療機器や電子カルテシステムまた文献検索などが行える図書室を備えており快適に研修に取り組むことができる環境にあります。

医師としての研修も大学や教育病院での指導経験豊富な指導医が各診療科におり適切かつ迅速に診断・検査・治療を遂行できるように研修医の教育を行っています。



### 先輩研修医から message



研修医 1年目

鈴木 大成

当院での研修の魅力は、先生方の面倒見がよく、何でも質問し易いところです。所属科の指導医に質問できるのはもちろんのこと、他科を回っているときでも気にかけていただき、勉強面でわからない点や当直で困った疾患について専門の先生に質問でき、優しく丁寧に教えてもらえます。

また、研修医で対応できるようになるべき common disease は大学病院と異なり、多く触れることができます。救急外来では first touch を任せられることもあり、考え方や知識の補充など必ず上級医からの feedback がありますし、医師としての基礎を築くには適していると思います。もちろん、希望すれば手技もやらせてもらえます。手技を行う際は指導医が必ずついてくれますし、コメディカルの方々も優しくサポートしてくれます。

研修医になってみると、面倒見のいい先生方やコメディカルの方々がいるおかげで自分自身成長出来ていると日々実感しています。

初期研修先として一考の価値があると思いますので、ぜひ気軽に見学にいらしてください。



### 女性医師支援コーナー

研修医期間での女性医師支援策は特に企画していません。

現在、厚労省「医師の働き方改革に関する検討会」では研修医等については、2018年7月9日に「臨床研修医省令に規定された『研修医』については『医師の特別条項』の特例の枠組み中で別途制度を定める」との答申がなされ、米国卒後医学教育認定評議会が制定した制度との整合性を検討中です。また、これまでの女性医師支援プログラムは院内保育・病児保育などを含めた柔軟な勤務体制の整備と活用が主な対応で、これらは既に卒後数年目の女性医師には実施されています。

臨床研修期間中は、その勤務形態や内容に男女別の分け隔てなく対応しながら適時、研修医の体調などを観察しながら、医師としての初めての貴重な経験に邁進してもらうべく注意深く育てて行く病院の方針です。チーム医療という環境の中では研修医は治療対象ではなく、チーム環境の中で多方面にお世話になりながら、一方では医師としての責務を自覚し、いずれはリーダーとして立ち立つように温かく優しい、頼れる女性医師として育てていきます。



### 連絡先 秀和総合病院

総務課（医局） 堀内聡乃

〒344-0035 春日部市谷原新田 1200

TEL ▶ 048-737-2121（代表） FAX ▶ 048-737-2903

E-mail ▶ sgh.ikyoku@shuuwa-gh.or.jp

URL ▶ http://www.shuuwa-gh.or.jp

アクセス ▶ 東武スカイツリーライン・東武アーバンパークライン「春日部駅」下車後、西口より朝日バス「秀和総合病院」下車 所要時間 10分



### 病院見学、その他イベント・説明会等の情報

- 随時、病院見学を受付けております。希望の日程をご連絡ください。